

第122回日本精神神経学会学術総会 プログラム集・抄録集 補筆表
変更・修正箇所のお知らせ

<新規>

2026/6/11 現在

| プログラム頁 | 抄録頁 | セッションタイトル・変更内容 | 変更前（敬称略） | 変更後（敬称略） |
|--------|-----|---|----------|--|
| — | — | シンポジウム121 追加開催 旧優生保護法問題を通じて精神医療のこれからを考える | — | 6月19日（金）14:05～16:05 M会場（パシフィコ横浜ノース 4F G403） 司会： 1.池田 学（大阪精神医療センター 脳とこころの未来医療センター） 2.三村 将（慶應義塾大学予防医療センター） 演者： SY121-1 竹島 正（大正大学地域構想研究所） 演題名：旧優生保護法問題から学ぶ—法委員会の研究報告をもとに SY121-2 後藤 基行（立命館大学） 演題名：旧優生保護法問題と医療機関記録——公文書研究の進展と歴史的診療録をめぐるアーカイブズの課題 SY121-3 藤井 克徳（公益財団法人日本精神衛生会理事／NPO法人日本障害者協議会代表） 演題名：優生保護法問題の検証と解消を精神科医療改革のデコに SY121-4 上東 麻子（毎日新聞） 演題名：取材を通して見えてきた被害の実態と差別の構図 |

<正誤>

| プログラム頁 | 抄録頁 | セッションタイトル・変更内容 | 変更前（敬称略） | 変更後（敬称略） |
|---------|-----|--|------------|----------------------------|
| 14 | — | 6月20日(土) 日程表 世界各国の若手精神科医との国際交流企画の開催時刻 | 9:00～10:00 | 6月20日(土) 日程表 9:30～10:00 |
| 168・198 | — | 会長企画セミナー 精神科医に必要な神経診察と鑑別のポイント—器質的疾患を見逃さないために SS-3 演者 | 齋藤 勇二 | 齋藤 勇二 |

<演題取り下げ>

| プログラム頁 | 抄録頁 | セッションタイトル | 演題番号 氏名（敬称略） | 演題名 |
|--------|-----|--|--------------------------------|---|
| 21・132 | — | ワークショップ10 開催中止 映画「どうすればよかったか？」から考える 日本のアンチスティグマ活動においてこれからはすべきこと | — | — |
| 75 | 304 | シンポジウム28 軽度知的障害、境界知能の実態と支援を考える | SY28-3 梅永 雄二 | 成人期の境界知能者の課題と支援 |
| 89 | 343 | 一般演題 1 児童・思春期精神障害1 | 1-FP1-2 Ziara Carmelli G. Tan | When Words Wont Come Case of Pediatric Patients Presenting with Stuttering in a Tertiary Hospital |
| 93 | 350 | 一般演題 5 コンサルテーション・リエゾン | 1-FP5-8 Ziara Carmelli G. Tan | Psychodynamic and Interdisciplinary Care for Depression in Patients with HIV and Comorbid Illnesses |
| 95 | 322 | 一般演題 7 統合失調症とその類縁 2 演題取り下げ | 1-FP7-1 谷口 莉菜 | 統合失調症患者における夜間光曝露と肥満との関連についての横断研究 |
| 98 | 358 | 一般演題 10 神経症性障害とその類縁2 | 1-FP10-6 Ziara Carmelli G. Tan | Sociodemographic and Clinical Factors Associated with Adjustment Disorder in CL Psychiatry Patients |
| 104 | 367 | 一般演題 17 身体合併症／Complications of Physical Illness in Patients with Mental Illness | 1-FP17-2 大脇 晴香 | 慢性期精神科病棟における新規作用機序便秘薬導入による費用対効果の検討 |
| 104 | 368 | 一般演題 17 身体合併症／Complications of Physical Illness in Patients with Mental Illness | 1-FP17-6 村山 真之 | がんの治療方針を巡って意思決定支援に難渋した統合失調症の一例 |
| 158 | 520 | 一般演題 精神科専門医研修中の医師 11 | 2-RP11-5 李 智祥 | 精神科病棟における行動制限とD-dimer上昇の関連性の検討 |

<司会・演者情報の変更>

| プログラム頁 | 抄録頁 | セッションタイトル・変更内容 | 変更前（敬称略） | 変更後（敬称略） |
|--------|-----|--|--|---|
| 53 | — | スポンサードレクチャー2 司会変更 | 司会：橋本 亮太（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部） | 司会：村井 俊哉（京都大学大学院医学研究科・精神医学 教授） |
| 56 | — | スポンサードレクチャー3 SPL3-2 演者所属表記変更 | 新堂 晃大 三重大学大学院医学系研究科神経病態内科学 | 新堂 晃大 三重大学大学院医学系研究科 脳神経内科学 教授 |
| 58-59 | — | シンポジウム6 マイレジストリ（精神疾患レジストリ）を活用した薬事承認の実現と展望 指定発言者変更 | 〔指定発言者〕 大熊 ひとみ 国立研究開発法人国立がん研究センター | 〔指定発言者〕 一村 昌彦 国立がん研究センター中央病院 |
| 60・200 | — | 精神療法・心理アセスメント体験ワークショップ2 講師の追加 | — | 牧野 みゆき 国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター |
| 83・84 | 341 | Fellowship Award Symposium3 FAS3-3 演者変更 | 演題名：Challenges to Early Intervention in Adolescent and Young Adult Mental Health: A Nigerian Perspective 氏名：Ehiaghe J. Aigbomian 所属：Department of Psychiatry, University of Calabar Teaching Hospital, Nigeria | 演題名：Stigma, psychoactive substances, lost years and brain function 氏名：Algirdas Musneckis 所属：Kaunas Hospital of Lithuanian University of Health Sciences |
| 86 | 324 | シンポジウム38 高齢者の精神療法：現代高齢者の不安をどう扱うか SY38-3 演者変更 | 北山 純 学習院大学 | 新村 秀人 大正大学臨床心理学部 |
| 108 | — | スポンサードレクチャー8 SPL8-2 演者所属表記変更 | 新堂 晃大 三重大学大学院医学系研究科神経病態内科学 | 新堂 晃大 三重大学大学院医学系研究科 脳神経内科学 教授 |

| | | | | |
|---------|---------|--|--|--|
| 110 | — | シンポジウム 43 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」を支える精神科医療機関の役割 指定発言者：所属表記変更 | 岡本 秀行 厚生労働省 | 岡本 秀行 厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部 精神・障害保健課 |
| 113・203 | — | 精神療法・心理アセスメント体験ワークショップ5 演者・ファシリテーター所属表記変更 | 新村秀人（大正大学臨床心理学部臨床心理学科） 久保田幹子（法政大学現代福祉学部臨床心理学科） 内富庸介（東京慈恵会医科大学・がんサイバースHIP・デジタル講座） | 新村秀人（大正大学臨床心理学部） 久保田幹子（法政大学大学院人間社会研究科） 内富庸介（東京慈恵会医科大学がんサイバースHIP・デジタル医療学講座） |
| 123 | 432 | シンポジウム58 子どもと依存 メインコーディネーター主所属変更 | 佐々木 剛 千葉大学医学部附属病院こどものこころ診療部 | 佐々木 剛 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院 児童精神診療部 |
| 124 | 380・436 | シンポジウム60 精神科医療は子どもの居場所づくりに何が出来るのか？ 司会の追加 | 司会1 笠原 麻里 医療法人財団青溪会駒木野病院 | 司会1 笠原 麻里（医療法人財団青溪会駒木野病院） 司会2 佐久間 睦貴（社会医療法人あさかホスピタル） |
| 126 | — | シンポジウム63 大災害後のこころのケアセンターの歩みから学ぶ — 復興期のメンタルヘルズ支援を考える — 指定発言者：加藤 寛（指定発言なし） | 指定発言者：加藤 寛（兵庫県こころのケアセンター） | 指定発言なし |
| 143 | — | シンポジウム81 社会とつながる精神医療—医療・教育・地域で支えるゲーム行動症支援の実際 指定発言者：樋口 進 | 指定発言者：樋口 進（国立病院機構久里浜医療センター精神科） | 指定発言なし |
| 172 | 558 | シンポジウム98 一般精神科医のための前頭側頭型認知症診断のエッセンス メインコーディネーター兼演者の小林良太先生の所属変更 | 小林 良太 山形大学医学部精神医学講座 | 小林 良太 藤田医科大学医学部認知症・加齢脳科学科 |
| 176 | — | ワークショップ14 司会・演者所属表記変更（WS14-4） | 高橋 恵（メンタルヘルズ研究所／北里大学） 森 由加（リイリファミリーグループ） | 高橋 恵（メンタルヘルズ対策研究所／北里大学） 森 由加（依存症と重複障害を考える会 リイリファミリーグループ） |
| 177 | 570 | シンポジウム104 神経発達症を持つ人々の能力発揮 SY104-2 演者変更 | 中野 育子（札幌こころの診療所） | 瀧澤 颯大（札幌こころの診療所） |
| 177 | 571 | シンポジウム104 神経発達症を持つ人々の能力発揮 SY104-5 演者変更 | 阿渡 健太（日揮パラレルテクノロジーズ株式会社） | 長尾 浩志（日揮パラレルテクノロジーズ株式会社） |
| 182 | 582・583 | シンポジウム110 精神科医療における肥満症への多角的アプローチ ～精神病理・摂食行動から最新の内科・外科的治療法まで～ SY110-3 メインコーディネーター、司会、演者 所属変更 | メインコーディネーター、演者（SY110-3）：林 果林 司会：桂川 修一 東邦大学医療センター佐倉病院精神神経医学研究室 | メインコーディネーター、演者（SY110-3）：林 果林 座長：桂川 修一 東邦大学医療センター佐倉病院メンタルヘルスクリニック |
| 183・184 | 522・588 | シンポジウム113 気分障害の分子病態に迫る最前線 司会の追加 | 司会1 加藤 忠史 順天堂大学医学部精神医学講座 | 司会1 加藤 忠史（順天堂大学医学部精神医学講座） 司会2 池田 匡志（名古屋大学大学院医学系研究科精神医学） |

＜その他変更＞

| プログラム頁 | 抄録頁 | セッションタイトル・変更内容 | 変更前（敬称略） | 変更後（敬称略） |
|---------|---------|---|--|--|
| 33 | — | Fellowship Award 受賞者変更 | Ehiaghe Aigboman Department of Psychiatry, University of Calabar Teaching Hospital | Algirdas Musneckis Kaunas Hospital of Lithuanian University of Health Sciences |
| 52・53 | 249・250 | シンポジウム1 日本の精神科医療・保健福祉の未来を考える 2026 発表順変更 | ①SY1-1 佐久間 啓 ②SY1-2 藤井 千代 ③SY1-3 來住 由樹 ④SY1-4 針間 博彦 | ①SY1-1 佐久間 啓 ②SY1-3 來住 由樹 ③SY1-2 藤井 千代 ④SY1-4 針間 博彦 |
| 79・80 | 307・308 | シンポジウム30 腎不全医療におけるサイコネフロジーと緩和ケアの展望 発表順変更 | ①SY30-1 西村 勝治 ②SY30-2 高野 公輔 ③SY30-3 大内 雄太 ④SY30-4 岡 文恵 ⑤SY30-5 大武 陽一 | ①SY30-1 西村 勝治 ②SY30-5 大武 陽一 ③SY30-2 高野 公輔 ④SY30-4 岡 文恵 ⑤SY30-3 大内 雄太 |
| 97 | 374 | 一般演題 精神科専門医研修中の医師3 1-RP3-3 共著者追加 | 荒田 昌彦、桑原 達郎、須田 哲史、天野 光一郎、村川 文彬、森 武 太陽地 国家公務員共済組合連合会立川病院 | 荒田 昌彦 ¹ 、桑原 達郎 ¹ 、須田 哲史 ¹ 、天野 光一郎 ¹ 、村川 文彬 ¹ 、森 武 太陽地 ¹ 、影山 智巳 ² 、二木 功治 ³ 、押田 卓磨 ³ 、斎藤 茉莉奈 ⁴ ¹ 国家公務員共済組合連合会立川病院、 ² 国家公務員共済組合連合会立川病院循環器内科、 ³ 国家公務員共済組合連合会立川病院腎臓内科、 ⁴ 国家公務員共済組合連合会立川病院脳神経内科 |
| 123 | 434・435 | シンポジウム 59「こども・若者を支える社会システムの構築に向けて：産学官連携の可能性と実践」 発表順変更 | ①SY59-1 内野 敬 ②SY59-2 磯野 浩嗣 ③SY59-3 石井 美緒 ④SY59-4 門田 行史 | ①SY59-1 内野 敬 ②SY59-3 石井 美緒 ③SY59-4 門田 行史 ④SY59-2 磯野 浩嗣 |
| 150 | 500 | 一般演題25 ECT、TMS、ニューロモデュレーション2 2-FP25-1 共著者掲載順変更 | 多田 羅 翼 ¹ 、栗本 直樹 ^{1,2} 、椿尾 太加志 ^{1,3} 、山本 佳樹 ¹ 、鶴飼 誠史 ¹ 、北野 雅史 ¹ 、山田 麻紀 ¹ 、川本 孝憲 ¹ 、栗本 藤基 ¹ | 多田 羅 翼 ¹ 、栗本 直樹 ^{1,2} 、山本 佳樹 ¹ 、鶴飼 誠史 ¹ 、北野 雅史 ¹ 、山田 麻紀 ¹ 、川本 孝憲 ¹ 、栗本 藤基 ¹ 、椿尾 太加志 ^{1,3} |
| 153 | 505 | 一般演題 28 摂食障害 2-FP28-2 共著者追加 | 井上 智子 ¹ 、関口 敦 ^{1,3} 、河合 啓介 ² 、田村 奈穂 ² 、須藤 信行 ³ 、高倉 修 ³ 、竹林 淳和 ⁴ 、佐藤 康弘 ⁵ 、菊池 充 ⁶ 、佐野 滋彦 ⁶ 、鈴木 一恵 ⁸ 、今井 淳司 ⁸ 、古郡 規雄 ⁹ 、加納 優治 ¹⁰ 、廣方 美沙 ² 、磯部 智代 ⁴ 、水野 有香 ⁷ 、中道 秀尚 ⁷ 、高木 大輔 ⁷ 、井野 敬子 ¹ | 井上 智子 ¹ 、関口 敦 ^{1,3} 、河合 啓介 ² 、田村 奈穂 ² 、須藤 信行 ³ 、高倉 修 ³ 、竹林 淳和 ⁴ 、佐藤 康弘 ⁵ 、菊池 充 ⁶ 、佐野 滋彦 ⁶ 、鈴木 一恵 ⁸ 、今井 淳司 ⁸ 、古郡 規雄 ⁹ 、加納 優治 ¹⁰ 、廣方 美沙 ² 、磯部 智代 ⁴ 、水野 有香 ⁷ 、中道 秀尚 ⁷ 、高木 大輔 ⁷ 、井野 敬子 ¹ 、山崎 允宏 ¹ |
| 182・183 | 584・585 | シンポジウム111 精神医学的併存症を持つ摂食症の治療はどのように行われるべきか 発表順変更 | ①SY111-1 井野 敬子 ②SY111-2 野田 智美 ③SY111-3 小原 千郷 ④SY111-4 松本 俊彦 | ①SY111-3 小原 千郷 ②SY111-2 野田 智美 ③SY111-1 井野 敬子 ④SY111-4 松本 俊彦 |
| 195 | 621 | 一般演題 初期臨床研修中の医師、学部学生 5 3-SP5-4 共著者追加 | 曾我 鷹平、石田 琢人、乾 剛、布村 明彦 東京都立松沢病院 | 曾我 鷹平 ¹ 、赤星 祥伍 ² 、石田 琢人 ³ 、乾 剛 ⁴ 、布村 明彦 ⁴ ¹ 東京都立松沢病院初期研修医、 ² 東京都立病院機構研究推進センター、 ³ 東京都立松沢病院内科、 ⁴ 東京都立松沢病院精神科 |
| 12・196 | — | ワークショップ8 向精神薬の副作用のリスクシェアリング（その2）：抗うつ薬、気分安定薬 WEBでの事前申し込み無し | WEBでの事前申し込み〇 | WEBでの事前申し込み無し |